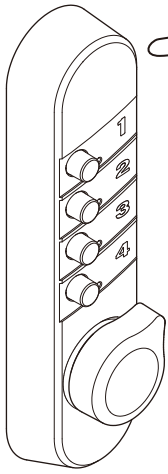


取扱説明書（お施主様向）

このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書は施工完了後、お施主様にお渡しください。
この説明書は必ずお読みのうえ、保管してください。



防犯上、定期的な記憶番号の変更をおすすめします。

〈記憶番号の記録〉

	室 外 側				室 内 側			
ボタンNo.	1	2	3	4	1	2	3	4
年 月 日								
年 月 日								
年 月 日								
年 月 日								
年 月 日								

注意 危険防止の為に以下をお読みください

7275040

■ 取付ねじのゆるみ



- 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為、定期的に増し締めしてください。
- 取り付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

■ 他の用途への使用

- ロックターンにぶら下がったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。

◆ 操作上の注意
（故障の原因となります）

- 製品の分解、改造はしないでください。
- デッドボルトを突き出させた状態で扉を閉めないでください。
- ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- 主錠・補助錠を施錠してから、KLO47 を施錠してください。

◆ 永くご使用頂くために

- 錠ケースへの潤滑剤使用は避けてください。
 - 表面の手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
 - 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。
 - 水をかけて丸洗いすることは、避けてください。
 - 製品に塗布している油分が、使用当初や長期間使用されなかった後などに固くなり、作動が鈍くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 何度か操作されますとスムーズに動くようになります。

記憶番号設定時の注意と必要なもの

- ① 記憶変更ピン
- ② マイナスドライバー
- ③ プラスドライバー
- ④ クサビ等

①記憶変更ピン



記憶番号 新規設定 及び 記憶番号 変更 に使用します。

記憶番号 変更 切替バーの操作に使用します。

もしもの時 に本体を取り外す時に使用します。

記憶番号 新規設定 記憶番号 変更 もしもの時 に扉を開いた状態で固定させるために使用します。

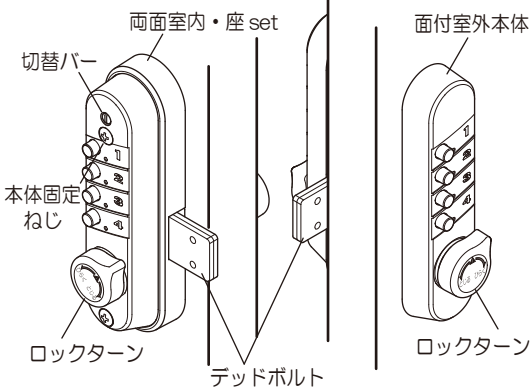
記憶番号の設定・変更のときは、必ず扉を開いた状態にして（クサビ等で固定）室内外ともおこなってください。



株式会社 長 沢 製 作 所

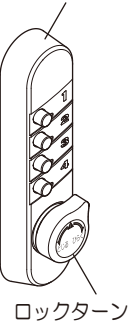
東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代）
FAX. 06-6783-5092

各部の名称と操作方法



本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

面付室外本体



キーレックス047（以下KL047）は、記憶番号ボタン操作と、ロックターン操作で施解錠をおこないます。

※工場出荷時は、記憶番号の設定がされていないフリー状態です。
（裏面 記憶番号 新規設定 で設定）

ロックターンを回しデッドボルトがスムーズに作動することを確認してください。

※表示シールと操作がっていることを確認してください。
『とじる』の方向はデッドが飛び出す → 施錠（リセットの役目もあります）
『ひらく』の方向はデッドがおさまる → 解錠

記憶番号について

- ・KL047は『どのボタンを何回押すか』を認識し解錠します。
記憶番号とは『どのボタンを何回押すか』で理解できます。

例 1：出荷時の状態

ボタンNo. → 1 2 3 4
0 0 0 0

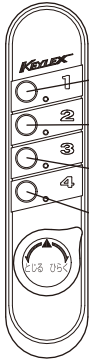
※どのボタンを押さなくても解錠できます。

例 2：記憶番号 2003 の設定時

ボタンNo. → 1 2 3 4
2 0 0 3



- ・記憶番号は各ボタン0から7まで設定できます（最大各7回まで押せます）。
- ・室外本体に記憶番号の設定が可能です。



0～7
0～7
0～7
0～7

- 注：0 0 0 0 の設定は空錠
ボタン操作無しで解錠できます。
注：1 桁の設定は防犯上おやめください。
2 桁以上の設定をおすすめします。
注：7 7 7 7 この設定にはしないでください。

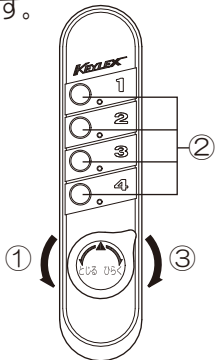
例：0 0 0 1 0 7 0 0 3 0 0 0 NG
1 0 0 1 0 7 0 1 3 1 0 0 OK

基本の操作

施 錠

- ① ロックターンを『とじる』に回しきります。

※デッドボルトが出て施錠します。



解 錠

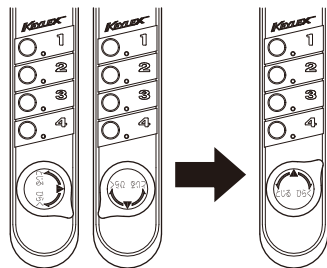
- ① ロックターンを『とじる』に回しリセットします。
ゆっくり止まる位置まで回しきります。
※誤操作・イタズラ回避のため必ずリセットしてください。

- ② 記憶番号を入力します。
ボタンは奥まで確実に押します。
※ボタンを押す順番は自由です。
※記憶番号を押し間違えた時は
①から操作をやりなおしてください。

- ③ ロックターンを『ひらく』に回すと解錠できます。

「安全装置機能」とは

ロックターンを強引（記憶番号操作をせず）に不正開錠をおこなうと、KLO47 内部の『安全装置』が動き、ロックターンが空転します。故障ではありません。
右図のように、傾いたり、横になった時は強い力で回転させ、正常な位置に戻してください。



安全装置作動時 正常な位置

室内に **2003** を設定する例での説明です。

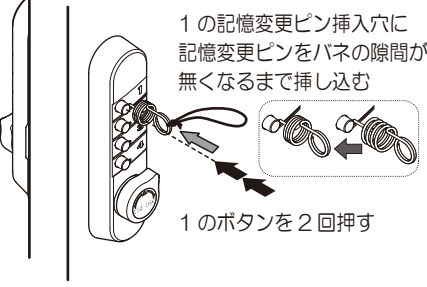
設定する記憶番号は、必ず裏面〈記憶番号の記録〉欄に記入してください。

1: 施錠・解錠の確認

工場出荷時、記憶番号は設定されていません。**0000**

【施錠確認】ロックターン（サムターン）を『とじる』に回し、デッドボルトが出ることを確認します。【解錠確認】『ひらく』へ回し、デッドボルトが収まることを確認します。

2: 記憶番号の設定 [1 のボタン]



1 の記憶変更ピン挿入穴に記憶変更ピンをバネの隙間が無くなるまで挿し込む

1 のボタンを 2 回押す

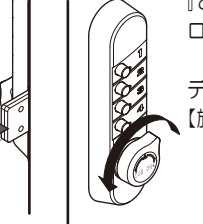
本図は右吊元仕様です

2-1: 記憶変更ピンを使用します。
2003 の記憶番号を入力するために【1 のボタン】に **2** を入力します。

2-2: 記憶変更ピンを 1 のボタンの隣の挿入穴に挿し、奥まで確実に挿し込みながら【1 のボタン】を 2 回押します。（1 回ずつ確実に押してください）


2-3: ピンを抜く。【1 のボタン】に **2003** の **2** が入力されました。

3: 施錠の確認



『とじる』にロックターンを回す

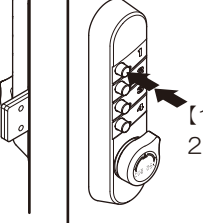
デッドボルトが出る【施錠状態】




『ひらく』にロックターンを回す

◎ロックターンが回らない…OK **4** へ進む
△ロックターンが回りデッドボルトが戻る…NG **2** をもう一度おこなう

4: 解錠の確認



【1 のボタン】を 2 回確実に押す



『ひらく』にロックターンを回す

◎ロックターンが回りデッドボルトが戻る…OK **5** へ進む
△ロックターンが回らないデッドボルトが戻らない…NG **もしもの時** へ進む

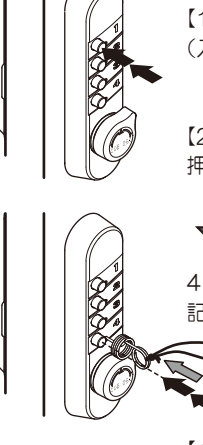
【1 のボタン】に **2003** の **2** が入力できました。

次に進む前に

※記憶番号を入力しロックターン操作をしたときは、既に入力してある記憶番号のボタンを押してから、次の記憶番号の入力操作をおこないます。

※一度に [1 ~ 4 のボタン] を同時に入力する事もできます。

5: 記憶番号の設定 [2 ~ 4 のボタン]



【1 のボタン】を 2 回押す（入力済み）

【2・3 のボタン】は押さない

↓

4 の記憶変更ピン挿入穴に記憶変更ピンをバネの隙間が無くなるまで挿し込む

【4 のボタン】を 3 回押す

5-1: 既に入力済みの【1 のボタン】を 2 回確実に押します。

5-2: 【2・3 のボタン】は **0** 設定のため押す必要はありません。

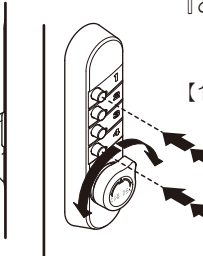
5-3: 【4 のボタン】に **2003** の **3** を入力します。

5-4: **2** と同様に記憶変更ピンを 4 のボタンの隣の挿入穴に挿し、奥まで挿し込みながら【4 のボタン】を 3 回押します。
※一回ずつ確実にボタンを押します。

5-5: ピンを抜く。【4 のボタン】に **2003** の **3** が入力できました。

6: 施錠・解錠の確認 (3, 4 と同じ操作です)

現在、入力されている記憶番号は **2003** です。



『とじる』に回し施錠する

【1 のボタン】を 2 回押す

【4 のボタン】を 3 回押す

『ひらく』に回し解錠する

6-1: 施錠の確認。
ロックターンを『とじる』に回しデッドボルトを出します。

6-2: ロックターンを『ひらく』に回し、回らないことを確認します。

6-3: 解錠の確認。
【1 のボタン】を 2 回押す。
【2・3 のボタン】は押さない。
【4 のボタン】を 3 回押す。

6-4: ロックターンを『ひらく』に回しデッドボルトが戻ることを確認します。

7: これで **2003** の記憶番号が入力できました

8: 室内側も同様の手順で、記憶番号を設定し入力します

記憶番号 変更： 必ず扉を開けた状態でおこないます

記憶番号を変更するときは、現在入力されている番号を全て 0 に戻してから、新規に設定する記憶番号を入力します。

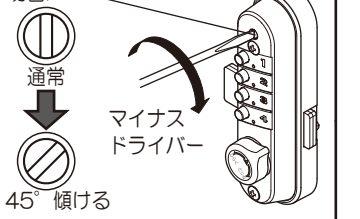
例：室内 **2003** ➡ **0000** ➡ **?? ??**

注：室内側、室外側同じ操作ですが、別々に行なってください。

1: 現在入力されている記憶番号 **2003** を入力する

記憶番号を入力しないと、番号変更はできません。

2: 切替バーを傾ける



切替バー

通常

↓

マイナスドライバー

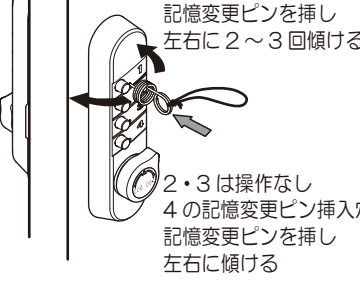
右 45° 傾ける

2-1: ロックターン操作はしないでください。

2-2: マイナスドライバーで両面室内本体上部の切替バーの溝を右 45 度に傾けます。

2-3: 切替バーは傾けたまま、ドライバーを抜き取ります。

3: **0** の設定



1 の記憶変更ピン挿入穴に記憶変更ピンを挿し左右に 2 ~ 3 回傾ける

2・3 は操作なし
4 の記憶変更ピン挿入穴に記憶変更ピンを挿し左右に傾ける

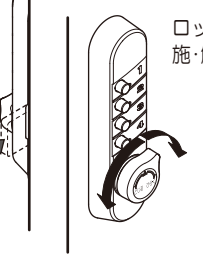
3-1: 1 のボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを奥まで確実に挿し込みながら、左右に 2 ~ 3 回傾けます。入力が解除されます。
2→0

3-2: 2・3 のボタンは **00** の為そのままです。

3-3: 1 のボタンと同様に 4 のボタンの隣の挿入穴にピンを押し込み左右に傾けます。
3→0

4: 切替バーを戻す

5: **0000** の確認 (施解錠フリー状態)



ロックターンを回し施・解錠を確認する

5-1: ロックターンを『とじる』に回しデッドボルトを出す。

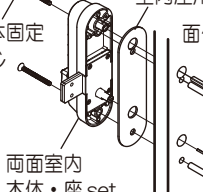
5-2: ロックターンを『ひらく』に回す。

5-3: デッドボルトが戻れば OK です。
記憶番号 新規設定 へ進む。
デッドが戻らない、ロックターンが回らない場合は再度 **1** からやり直す。それでも出来ない時は **もしもの時** へ進む。

もしもの時

記憶番号を新規設定時や、変更時の設定間違い、またはもしも記憶番号を忘れてしまったときには次の手順で本体を取り外し、記憶番号の確認をしてください。

1: 本体の取り外し



本体固定ねじ

室内座用スペーサー

面付室外本体


両面室内本体・座 set

本体・室内座固定ねじ

1-1: 室内側の固定ねじ 2 本をプラスドライバーで外し、扉から KLO47 を外す。
注：本体の落下に注意してください。

1-2: 本体・室内座固定ねじを外し、両面室内本体と座を分割してください。

2: 記憶番号の確認 (本体裏側で確認)



アイマーク

例：0 設定時 アイマーク右横

例：2 設定時 アイマーク真上

アイマークの位置図


2-1: ロックターンを左右に回します。

2-2: ボタン裏にアイマークが見えます (左図)。アイマーク同士が合った所が 0 設定です。

2-3: ボタンを押します。1 回押すごとに 45 度ずつ右回転します。

2-4: 確認後ロックターンを回します。アイマークが止まっている位置が今の記憶番号です (このままでも使用できます)。

3: 切替バーを傾ける



両面室内本体

室外本体

左に回す

右に回す

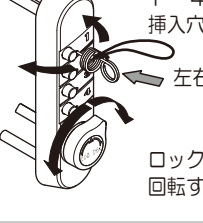
切替バー 45° 傾ける

切替バー 45° 傾ける

3-1: **2** で確認できた記憶番号を押します。全て 0 設定に揃えます。**0000**

3-2: 切替バーを 45 度回し傾けます。
注：室外本体は右へ回します。室内本体は左へ回します。

4: **0** の設定



1 ~ 4 の記憶変更ピン挿入穴に記憶変更ピンを挿し左右に 2 ~ 3 回傾ける

ロックターンが左右に回転することを確認する

4-1: 本体を表側にし、全てのボタンの隣の挿入穴に記憶変更ピンを挿し込み、押し込みながら左右に傾け、ピンを抜きます。

4-2: 本体を裏側にし、切替バーを戻します。

4-3: ロックターンが左右に回転することと本体裏面のアイマーク全てが 0 の位置になったことを確認します。**0000**

5: 本体の取付

面付室外本体、両面室内本体・座 set を本体固定ねじ (φ5×50) 2 本で取り付けます。再度、**記憶番号 新規設定** へ進む。